

総務文教常任委員会

平成29年度一般会計補正予算

主な内容	地域おこし協力隊事業費	363万円	職員の募集・採用経費
	伝建群保存地区保存整備事業費	100万円	武家屋敷の壁の修繕料
	角館のお祭り保存会補助金	50万円	ユネスコ登録の掲示看板の作成費
	総合給食センター調査検討事業費	2160万円	基本設計・地質調査費

ここが知りたい 議論のポイント

平成29年度予算 主な質疑

質問 現在までに4人の地域おこし協力隊員が仙北市で勤務している。近未来実証特区やドローン事業に従事する職員を募集するという説明だが、何を重視して募集・採用をするのか

答弁 市内にはドローン技術に精通した方が少ないので、指導が出来て、起業につながるような職員を募集・採用したい。

質問 伝建群で起きた事故後の対応はどうなっているのか。

答弁 警察から逃走中に伝建群の壁に追突している。運転者は、生活困窮者であり、修繕料に関しては、すぐには払えないが、必ず弁済したいという話を聞いている。市としては、今後当然返済を求めていくが、事故の対応として、秋の観光シーズンを控えている観点から、市が早期に修繕を行うことが必要であり、予算を計上した。

質問 角館のお祭り保存会補助金の内訳は。

答弁 角館の曳山行事がユネスコの登録になったことを受けて、各曳山に設置する統一した看板を作成する経費である。曳山の前方に設置をお

願いしている。

質問 給食の配送は直営で行うのか。また、給食の配送のルート数は。

答弁 新しい総合給食センターが出来た後も業務委託で行うことを考えている。配送は6ルートで検討している。

質問 新しい総合給食センターを建設出来るというのに、経費削減・合理化等の観点で欠けているように感じる。例えば、以前に比べて給食の保温設備等は大幅に進歩している。

他市の例を上げれば、以前よりも配送ルート数は少なく、配送時間は長くなっているのが実情である。配送の直営が望ましいのかやルート数の検討が本当になされているのか疑問だ。

答弁 生徒達に温かい給食を届けるという観点から、現在考えられるベストの配送方法を提示している。議員の指摘も踏まえて今後検討したい。



■総合給食センター建設予定地
(西木工業団地)

総務文教常任委員会現地視察

生保内・田沢 財産区を視察

財産区は、資産を活用して、まちづくりや公共施設の運営等を行っている。視察では、生保内区の造成林と仙北市温泉引湯管布設敷地・旧高原スキー場跡地・田沢湖郷土史料館を見学した。

特に、スキー場跡地は現在、ドローンの実証実験地に指定されている。



■温泉引湯管布設状況



■生保内北部分収林組合造林地

用語解説

・財産区…市町村や区域内で財産や公の施設を所持している場合に、その財産や施設の管理や処分に、法人格を持っているもの。

市民福祉常任委員会

平成29年度一般会計補正予算

主な内容

温泉休養施設管理運営費

1,110万円

クリオプール屋根・天井の水漏れ発生に伴う改修費用

主な質疑

質問 クリオプールの屋上の水漏れはいつ頃分かったのか。また、工事請負費 954 万 8,000 円が基準になると思うが、一般競争入札で行うのか。

答弁 今年の3月末、業者から水漏れの連絡があった。入札は、一般競争入札になるが、議決後に実施設計という形で進める事になっている。

質問 実施設計は議決後に設計業者を指名して進める事になるのか。

答弁 実施設計については、指名競争入札で進めたい。また、工事請負については、一般競争入札で進めたい。

質問 クリオプールの大規模改修設計業者が、一番状況を把握しているので同じ業者で良いのではないか。

答弁 指摘のとおりという事もある。その部分も含め、入札契約室と検討させていただきたい。



■屋上防水シートの劣化により雨水が漏水するクリオン

質問 消費生活センターについて

答弁 188をダイヤルし、その後、音声ガイダンスに従って通話すると、国の消費生活

センターの資格は、「独立行政法人国民生活センター」が付与する消費生活専門相談員の資格、「財団法人日本産業協会」が付与する消費生活アドバイザーの資格、「財団法人日本消費者協会」が付与する消費生活コンサルタントの資格の3つがある。資格については、学歴、経験を問わず、いずれかの試験に合格すれば相談員の資格が得られる。

質問 消費生活相談員になるための資格について

ここが知りたい
議論のポイント
平成29年度予算 主な質疑

係につながる。また、市にも独立した外線があり、(43-3308) 新たな専用電話の設置は考えていない。分かりやすい周知方法を検討したい。
☆万が一に備え、相談員を現在の1名から最低でも2名に増員するよう要望しての賛成討論があった。



■消費生活センターが設置される消費生活係 (43-3308)

産業建設常任委員会

平成29年度仙北市水道事業会計補正予算

主な内容	グリーンツーリズム推進事業費	151万円
	農家民宿・グリーンツーリズム団体で組織する農山村体験推進協議会が旅行業の資格を取得し、旅行業の事業所を開設する費用。	
	秋田発・子どもふるさと交流推進事業費補助金	79万円
	クニマス未来館関連の新規事業。市内の小学生と山梨県西湖近隣の小学生との交流にかかる経費。	
	観光施設整備事業費	400万円
	角館駅、田沢湖駅、武家屋敷、乳頭温泉、抱返りなどに看板を設置する費用。	
国際観光宣伝・誘客事業費	297万円	
田沢湖マラソンと高雄国際マラソンのスポーツツーリズム促進による相互交流事業に関する費用。		
角館祭りのやま行事公開展示事業費	300万円	
外町交流広場に、旧中央通りの曳山を8月から11月にかけて展示する費用。		

水道未普及地域解消事業に伴い、雲然・田中、八割地区において、国費の内示額が148.6%と大幅に増額になった。来年度に完了予定である。

質問 水道の建設改良費の増額により、どの程度増えるのか。
答弁 当初2,539mとしていたが、3,923mとなり、1,384mの延伸となる。
質問 事前に実施するアンケート調査結果に伴う、具体的な判断基準と水道整備を断念した有無について伺う。
答弁 給水対象者が5年以内に入する意思があるのか、又は加入予定があるのか調査する。1年以内の加入についても調査するが、加入率だけで判断はしない。地下水の状況なども判断材料としている。岡崎、院内地区に十数件存在するが、将来的に加入予定者が少なく、説明会を開催し内諾を得たうえで打ち切ったこともある。
質問 飲み水に困っている人への対応について伺う。
答弁 中川の高野地区で井戸水が飲料水として利用できない苦情などもあり、保健課で全域にわたって水質検査を実施する。

平成29年度予算 主な質疑

ここが知りたい
議論のポイント

請願を採択

請願第4号

武蔵野下5町内地内（一部）の側溝設置と舗装に関する請願

願意

道路沿いに側溝がなく降水時の雨水は道路の斜面を降り、道路沿いの一部の家屋や畑地に流れ込む状況にある。また、柳沢町内へ抜ける道路に未舗装部分があり車両・歩行者の通行に難渋している。



■側溝が必要な生保内斎場へ向かう道路